

宇宙特急便

平成25年7月号

Space express co.,Ltd

(株)スペースエクスプレス

TEL:0463-21-5522

FAX:0463-21-5529

E-MAIL: info@spaceexpress.co.jp

プロは見られてなんぼ。

職業人、サラリーマンでもドライバーも、プロはプロ。
 プロの前には、観衆(御客様)がいる。
 観られて、噂が評判となり、周囲に影響を与えてなんぼの世界。
 プロの限りない自己研磨・啓発には生活が直接かかってくる。
 アマチュアは、自分の為に頑張る。
 仮に結果が悪くとも自己満足という逃げ道がある。
 自分が納得できればそれでいいと。自己満足や言い訳自由だ。



代表取締役 河面 直

【在庫期間を考える】

例えば、今日が棚卸日とする。
 食品Aの入庫日30日前が100個、食品B入庫1日前100個あるとしよう。数量ではAB合計200個の在庫数だ。
 AとBは在庫期間が異なる。同じ在庫として評価していいのだろうか。ここで**在庫期間数量**という【物差し】で見してみる。
 A30日×100個=3,000個
 B1日×100個=100個 30日前入庫の品物と1日前入庫の品物の在庫期間合計を3,100個と表示では**在庫期間数量を金額で評価**するとどうだろう。
 Aは¥10/個 Bも¥10/個とする。
 A ¥10×3,000個=¥30,000
 B ¥10×100個=¥1,000
 AB合計金額 ¥31,000
 我々は目の前の数量と金額に注意が行くが、**在庫期間金額**

にすると切実感が違ってくる。1円換算で31,000日分のお金が期間中不動在庫になるのだ。実際は100個程度の在尾数ではないことを思うと、莫大なお金が寝ている勘定になる。**在庫削減は宝の山**だ。しかし、在庫が少なすぎても欠品や機会損失で管理コストが高くなる可能性もある。問題は業種各々の非流動在庫への考え次第だ。



(株)ヤマシタコーポレーション 山下一平社長の死を悼む

【お寺情報】

業界の損失である。
『人生には上り坂、下り坂に真坂がある。この「真坂」があるとは思ってもよらなかった』と江浄寺の導師。
最期を交通事故で迎えるとは誰が想像しようか。
先月、子息で専務に就任した山下和洋氏の弔辞が印象に残った。
一平社長は8年前に発覚したリンパ性癌と闘っていた。書齋で深夜迄事業構想を練った後、5年前成人した和洋氏に渡した10年ダイヤリーで交換を続けていたという。これが絶筆になった。

寡黙な学究肌の経営者。残された時間を精一杯生き切ろうとする気迫が胸に迫ってくる。

いつかやってくる死と格闘しながらの不慮な幕引き。
無念さはいかばかりか。
経営者として父として尊敬していたと専務の誠実で真摯な語り口調に、故社長への哀悼が溢れていた。

享年63歳。

合掌。

* 菩提寺は、浄土宗・江浄寺(ごうじょうじ)
徳川家康公長男信康所縁。(江浄寺内掲示による)
(静岡清水港至近の名刹)
浄土宗は(法然が開祖)徳川家と縁が深い。
芝・増上寺は浄土宗の本山のひとつ。(総本山は京都・知恩院)
(朝日百科【仏教を歩く】抜粋)



今月のひとこと

連続革新の仕組みがのれんを作る 「のれんに天才なし」
沓番館用品店主 渡辺明治氏

